2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　株式会社ナガオカ　　上場取引所　東
コード番号　6239　ＵＲＬ　https://www.nagaokajapan.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）梅津　泰久
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　（氏名）楯本　智也　ＴＥＬ　06(6261)6600

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：　無
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,387	34.7	123	－	95	－	53	－
2026年６月期第１四半期	1,030	△44.0	△77	－	△76	－	△46	－

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　18百万円（△33.1%）　2026年６月期第１四半期　27百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	7.78	－
2026年６月期第１四半期	△6.67	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	10,886	7,741	71.1
2026年６月期	10,514	7,966	75.8

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　7,741百万円　2026年６月期　7,966百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	35.00	35.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	33.9	1,700	240.3	1,700	196.6	1,100	235.4	158.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規1社　（社名）株式会社SKE

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	7,078,400株	2026年６月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	153,795株	2026年６月期	142,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	6,933,854株	2026年６月期１Ｑ	6,990,940株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．その他 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の政策動向による影響や中東情勢の長期化等に伴う原材料価格・エネルギーコストの上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たな中期経営計画「FLIGHT PLAN： TRANSFORM（REBOOT）2029」（計画期間：2027年６月期～2029年６月期）を策定し、2026年８月24日付で公表いたしました。計画実現のための経営戦略は従前の中期経営計画を継承しており、引き続き、①既存事業の改革、②M＆Ａを活用した事業構造の変革、③人的資本の強化に取り組んでまいります。

水関連事業では、従来からの事業領域である「上水道に用いられる地下水の取水」や「ケミレス（超高速無薬注生物処理装置）を用いた水処理プロセス」を軸として、その前後の工程にあたる「事前調査」「プラント設計・調達・建設」から「プラント運営・メンテナンス」までのバリューチェーン全体を事業領域と捉え、事業拡大に取り組んでおります。また、下水道や排水処理など、上水道以外の水事業領域への参入についても検討を進めております。これらの取り組みを通じて、総合水処理企業への転換を図り、事業領域・事業規模の拡大と収益力の強化を目指しております。

当社は、2026年９月10日開催の取締役会において、株式会社SKEの全株式を取得し、子会社化することを決議し、同年９月30日付で全株式を取得いたしました。株式会社SKEは、排水処理設備のプランニング・設計を起点に、排水処理設備のレンタルサービス、設備販売ならびに各種設備機器のアフターフォロー・メンテナンスを主力事業としております。同社の子会社化は、当社グループの総合水処理企業への転換に向けた事業領域・事業規模の拡大に寄与するものと考えております。

エネルギー関連事業では、設備更新が計画的に実施される既設プラントの更新需要の獲得に注力し、事業の安定化を図るとともに、新規プラント建設に係る需要についても積極的な営業活動に取り組んでおります。また、持続的な成長の実現に向け、特定の製品群、国・地域、プロセス・オーナーへの依存緩和に努め、リスク分散と受注機会の拡大を図っております。このため、コスト競争力の強化や取扱製品の拡充、地政学的リスクを踏まえた製造拠点の最適化に取り組んでおります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,387,584千円（前年同期比34.7％増）、営業利益123,948千円（前年同期は営業損失77,495千円）、経常利益95,265千円（前年同期は経常損失76,257千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益53,939千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失46,612千円）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

当第１四半期連結累計期間の受注については、2026年８月に当社子会社の矢澤フェロマイト株式会社が受注した大口案件「柏原浄水場濃縮槽等更新工事（受注金額：約４億円（税込））」が寄与し、前年同期の受注実績を大幅に上回りました（前年同期比109.9％増）。

損益面では、受注済案件の製造・工事が予定どおり進捗しました。売上高は421,753千円（前年同期比1.3％減）、セグメント損失は76,654千円（前年同期はセグメント損失74,100千円）となりました。

なお、水関連事業では、案件の受注・完成ともに下半期に偏る官公庁向けの案件が多く、民間向けや海外向けを含めた案件の多層化・重層化を目指しております。一方で、こうした事業特性から、第１四半期連結累計期間の業績は低調となる傾向があります。

また、当社は株式会社SKEの全株式を2026年９月30日付で取得し、子会社化いたしましたが、取得日が当第１四半期連結会計期間末日であったため、当第１四半期連結累計期間の連結損益に、同社の2026年７月～９月に係る損益は含まれておりません。

② エネルギー関連事業

当第１四半期連結累計期間の受注は、2026年９月に北米向けの大口案件（受注金額：約7.7億円）を獲得したこともあり、前年同期と同水準となりました。一方、米国の政策動向や中東情勢の長期化等の影響により、顧客によっては設備投資計画の実行を後ろ倒しにする動きが見られます。また、案件数の減少に伴う競合他社との受注競争や価格競争の激化が懸念されるなど、厳しい受注環境が続くことが予想されます。

損益面では、当第１四半期連結会計期間末の受注残高が前年同期比15.5％増となったことなどから、売上高965,830千円（前年同期比60.1％増）、セグメント利益327,668千円（前年同期比154.9％増）となりました。なお、前連結会計年度に製造が後ろ倒しとなっていた受注済案件については、製造・出荷が順次進んでおります。一方、顧客のファイナンス上の問題により一時中断している案件については、関係者からの情報収集を継続して

おりますが、顧客とエンドユーザーとのプロジェクト再開に向けた交渉に目立った進展はなく、状況に特段の変化は生じておりません。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は10,886,347千円となり、前連結会計年度末に比べ372,193千円増加しました。これは主に、現金及び預金が94,200千円、仕掛品が76,380千円、機械装置及び運搬具が79,680千円、のれんが426,162千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が296,059千円減少したことによるものです。

負債合計は3,144,556千円となり、前連結会計年度末に比べ596,646千円増加しました。これは主に、短期借入金が396,637千円、流動負債のその他が309,860千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が162,339千円減少したことによるものです。

純資産合計は7,741,790千円となり、前連結会計年度末に比べ224,452千円減少しました。これは主に、配当金の支払242,742千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益53,939千円の計上により利益剰余金が188,803千円、為替換算調整勘定が39,749千円減少したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2026年８月７日の「2026年６月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,181,400	3,275,600
受取手形、売掛金及び契約資産	4,180,286	3,884,227
電子記録債権	84,238	37,994
商品及び製品	33,557	13,809
仕掛品	180,656	257,037
原材料及び貯蔵品	556,038	519,684
その他	389,537	406,414
貸倒引当金	△232,936	△230,539
流動資産合計	8,372,778	8,164,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	708,725	696,605
機械装置及び運搬具（純額）	207,091	286,772
工具、器具及び備品（純額）	60,350	86,015
土地	149,095	149,095
リース資産（純額）	7,603	6,512
建設仮勘定	2,818	2,832
有形固定資産合計	1,135,684	1,227,832
無形固定資産		
のれん	4,787	430,950
その他	296,475	290,947
無形固定資産合計	301,263	721,897
投資その他の資産		
長期前払費用	477,119	458,424
繰延税金資産	119,305	150,132
その他	108,002	163,832
投資その他の資産合計	704,427	772,389
固定資産合計	2,141,375	2,722,119
資産合計	10,514,154	10,886,347

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921,079	758,739
短期借入金	253,362	650,000
１年内返済予定の長期借入金	9,924	19,932
未払法人税等	155,228	89,993
賞与引当金	4,797	95,442
役員株式報酬引当金	16,413	－
その他	1,066,549	1,376,410
流動負債合計	2,427,354	2,990,516
固定負債		
長期借入金	30,688	62,321
退職給付に係る負債	84,857	85,159
その他	5,011	6,559
固定負債合計	120,556	154,039
負債合計	2,547,910	3,144,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	1,001,208	1,001,208
利益剰余金	4,926,557	4,737,754
自己株式	△148,064	△148,064
株主資本合計	7,032,943	6,844,140
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△4,191	△91
為替換算調整勘定	937,492	897,742
その他の包括利益累計額合計	933,300	897,650
純資産合計	7,966,243	7,741,790
負債純資産合計	10,514,154	10,886,347

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,030,460	1,387,584
売上原価	641,945	792,633
売上総利益	388,515	594,950
販売費及び一般管理費	466,010	471,001
営業利益又は営業損失（△）	△77,495	123,948
営業外収益		
受取利息	2,763	3,033
スクラップ売却益	2,023	1,151
補助金収入	3,573	－
その他	1,745	2,531
営業外収益合計	10,106	6,717
営業外費用		
支払利息	5,644	1,564
為替差損	3,086	16,132
株式報酬費用消滅損	－	17,690
その他	138	12
営業外費用合計	8,869	35,400
経常利益又は経常損失（△）	△76,257	95,265
特別利益		
固定資産売却益	651	－
特別利益合計	651	－
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△75,605	95,265
法人税、住民税及び事業税	17,491	74,359
法人税等調整額	△46,484	△33,033
法人税等合計	△28,993	41,325
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△46,612	53,939
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△46,612	53,939

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△46,612	53,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△883	－
繰延ヘッジ損益	△2,444	4,099
為替換算調整勘定	77,266	△39,749
その他の包括利益合計	73,937	△35,649
四半期包括利益	27,325	18,289
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,325	18,289

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりです。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	35,265千円	34,515千円
のれん償却額	1,196	1,196

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	603,268	427,192	1,030,460	－	1,030,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	603,268	427,192	1,030,460	－	1,030,460
セグメント利益又は損失（△）	128,568	△74,100	54,468	△131,963	△77,495

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△131,963千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	965,830	421,753	1,387,584	－	1,387,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	965,830	421,753	1,387,584	－	1,387,584
セグメント利益又は損失（△）	327,668	△76,654	251,013	△127,064	123,948

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△127,064千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「水関連事業」セグメントにおいて、株式会社SKEの株式を取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第１四半期連結累計期間にのれんが427,359千円発生しています。

なお、のれんの金額は当第１四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

３．その他

受注及び売上高の状況

（１）受注の状況

当第１四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
エネルギー関連事業	1,350,248	98.2	3,214,572	115.5
水関連事業	807,596	209.9	3,599,989	199.6
合計	2,157,844	122.6	6,814,561	148.6

（２）売上高の状況

当第１四半期連結累計期間の売上高をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（千円）	前年同期比（%）
エネルギー関連事業	965,830	160.1
水関連事業	421,753	98.7
合計	1,387,584	134.7

（注）１．当第１四半期連結累計期間の売上高を地域ごとに示すと、次のとおりです。

	エネルギー関連事業		水関連事業	
	売上高（千円）	構成比（%）	売上高（千円）	構成比（%）
日本	3,627	0.4	382,845	90.8
中国	698,511	72.3	－	－
アジア（中国を除く）	89,997	9.3	38,907	9.2
米州	－	－	－	－
欧州	－	－	－	－
中東	168,216	17.4	－	－
アフリカ	5,477	0.6	－	－
計	965,830	100.0	421,753	100.0

２．最近２連結会計年度の第１四半期連結累計期間におけるエネルギー関連事業の売上高について、新設プラント向けの製品及びサービスの売上高と、既設プラントの設備更新・メンテナンスに関する製品及びサービスの売上高に分類した場合の内訳は、次のとおりです。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）	
	売上高（千円）	構成比（%）	売上高（千円）	構成比（%）
新設プラント向け	－	－	344,387	35.7
既設プラント向け	603,268	100.0	621,443	64.3
計	603,268	100.0	965,830	100.0